

電動式低圧吸引器 メラサキューム009 MS-009T

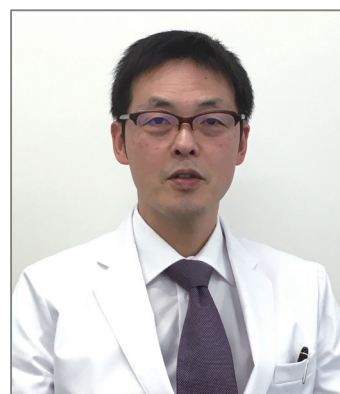
Clinical Interview ①

胸腔ドレナージにおけるトレンド機能の 使い方と有用性



東京女子医科大学病院 呼吸器外科では、肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、重症筋無力症、胸膜中皮腫、漏斗胸など呼吸器疾患全般を呼吸器内科と連携し外科治療を行っています。手術のおよそ9割は胸腔鏡手術です。胸腔鏡手術では、独自に開発、運用しているソフトを用い、胸部CT画像から個々の症例で術前に3次元肺構築モデルを作製し、オーダーメイドシミュレーションから適切な手術術式を検討し、手術に臨んでいます。

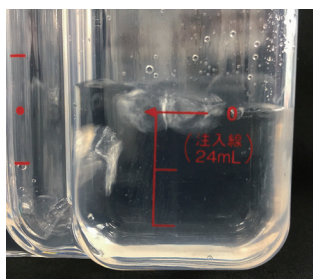
今回、新型メラサキュームMS-009Tに新しく搭載されたトレンド機能の使い方について神崎先生にお話しをお伺いしました。



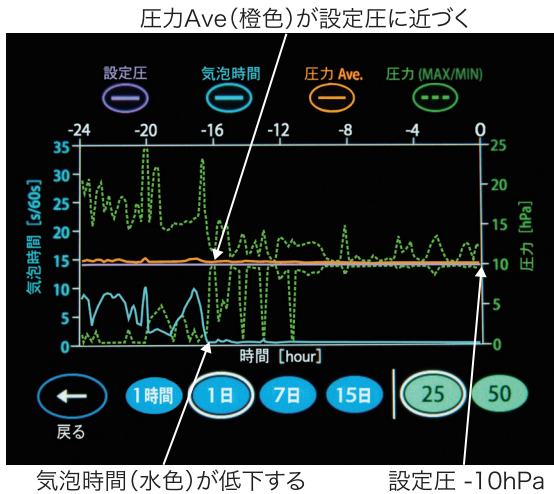
東京女子医科大学病院 呼吸器外科 教授
神崎 正人 先生

メラサキュームMS-009Tの使用状況についてお聞かせください。

新しい 009T は今まで使い慣れたサキュームの基本機能を継承していることもあり、当科の医師、看護師はほとんど違和感や戸惑うことなく使用しています。009T の操作は液晶タッチパネルで行うようになりましたが、表示が分かり易く、使っていて問題となることはありませんでした。水封によって「気泡」が見えることは、やはり安心感を与えます。従来の排液バッグを今まで通りに使用できることから特別なシステムを導入する必要もないため、スムーズに受け入れられたものと思われま



トレンド機能の使い方についてお聞かせください。

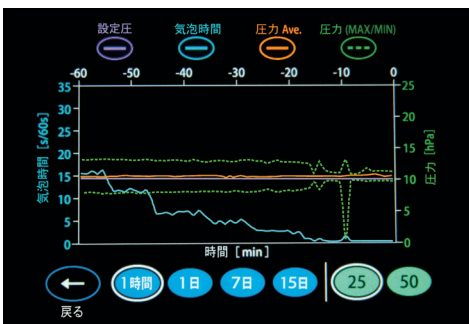


患者さんから気泡が発生していたことを申告された場合、過去にさかのぼり確認することができます。エアリークの状態を判断する上で、リークが経時的に確認ができるようになったのは非常に有用で、ベッドサイドでの気泡の情報共有に関しては、トレンド機能のグラフを確認することで十分であると感じています。圧力平均値(圧力 Ave)は、リークが減ると設定圧に近づきますので、気泡時間と組み合わせた経過観察ができます。ナースステーション、カンファレンスルームでの気泡の有無、増減に関して、医師と看護師間で情報交換する際にも多角的に判断できるので有用と思われます。

トレンド機能の有用性についてお聞かせください。

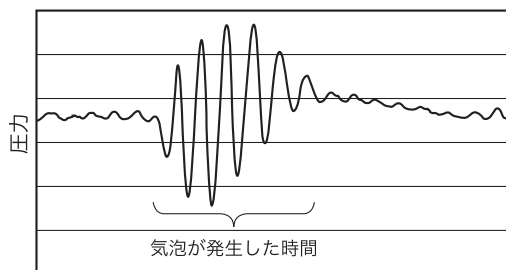
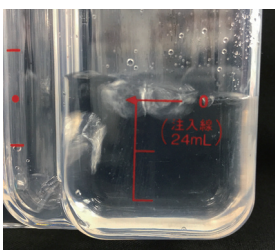
従来、エアリークの消失の確認には、留置したドレーンをクランプし、一晚観察した時点で胸部レントゲン写真を撮影し、肺の虚脱がなく拡張していること、皮下気腫の増大がないことを確認してドレーンを抜去していました。新しいメラサキューム 009T では、従来の排液バッグの気泡の有無に加え、トレンド機能による観察が可能となったことで、胸腔ドレーン管理が正確かつ簡便になる可能性が高いと思います。何と言っても、水封の気泡とトレンド機能による情報の共有が最大の魅力です。そして、個々の患者さんにおいて、吸引圧の変更などの確なドレーン管理が可能になると考えられます。

■トレンド機能について

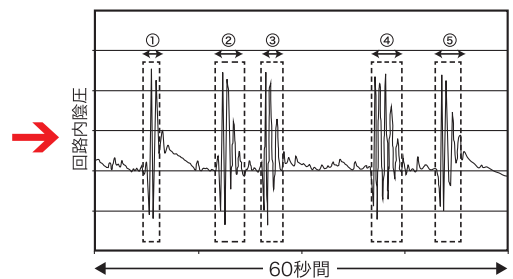


- 圧力センサで検知した気泡時間、平均圧力、最大圧力、最小圧力をトレンド表示します。
- 気泡時間は、水封に気泡が通過した時の急激な圧力変動を検知(吸引回路内圧)、60秒間当たりが発生した気泡時間の合計時間を表示します。
- 各パラメータのデータから就寝時、安静時、咳、深呼吸などエアリークの経過観察に使用できます。

■気泡時間の原理



水封に気泡が通過した時の急激な圧力変動を検知



60秒間当たりが発生した気泡時間の合計時間(①～⑤)を気泡時間として表示

製造販売業者

MERA 泉工医科工業株式会社

■問い合わせ先: 本社商品企画: TEL.03-3812-3254 FAX.03-3815-7011

■営業拠点: 札幌支店・東北支店・青森・盛岡・福島・関東支店・つくば・松本・新潟・東京支店・横浜・中部支店・静岡・金沢・関西支店・中四国支店・岡山・高松・九州支店・鹿児島

注意 実際のお取り扱いの際には添付文書又は、取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。

■常に研究・改良に努めておりますので、仕様の一部を変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

●2017/3月/2000 ●認証番号: 228ADBZX00080000 ●クラス分類: II ●不許複製 ●GR-1 ●B-77 ●BO-0332-01 www.mera.co.jp/